



2023年5月8日

各 位

上場会社名 株式会社 文溪堂
 代表者 代表取締役社長 水谷 泰三
 (コード番号 9471)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 吉田 裕之
 (TEL (058)398-1111)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,258	828	882	537	85.34
今回修正予想(B)	12,750	1,068	1,126	704	111.76
増減額(B-A)	△507	240	244	167	
増減率(%)	△3.8	29.0	27.7	31.1	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	13,197	1,153	1,216	774	123.21

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,930	934	973	638	101.40
今回修正予想(B)	11,499	1,194	1,235	813	129.08
増減額(B-A)	△430	260	262	175	
増減率(%)	△3.6	27.8	26.9	27.5	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	11,909	1,275	1,316	883	140.60

修正の理由

売上高につきましては、小学校・中学校図書教材とともに季刊物教材の受注増を見込んでおりましたが、予想を下回り減収となる見通しであります。

利益面につきましては、原材料の高騰による売上原価の増加を見込んでおりましたが、予想を下回りました。また、売上減に伴う荷造運搬費などの減少により、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益、経常利益及び当期純利益が増益となる見通しであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年5月13日発表)	—	20.30	—	20.30	40.60
今回修正予想	—	—	—	31.30	51.60
当期実績	—	20.30	—	—	—
前期実績 (2022年3月期)	—	23.30	—	32.90	56.20

配当政策の基本方針

当社の利益配当につきましては、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、安定した利益配当を継続的に実施することを最重要課題として位置付けており、従来からの安定的な配当を行うことに加え、業績連動型の配当を行うことを方針としております。

具体的には、株主の皆様に対する利益還元をより一層充実させる観点から、文溪堂単体の当期純利益の40%相当額を目処に年間配当金総額を決定しております。

なお、利益水準にかかわらず最低年間配当金として、1株当たり7円50銭を目標としております。

修正の理由

上記の基本方針に基づき、本日公表の通期個別業績予想を踏まえて、期末配当金につきましては、当初予想に対して1株当たり11円を増額し31円30銭となる予定であります。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上